

令和6年度「八代市学校・子ども教育応援基金」の活用状況

お寄せいただきました寄附金につきまして、令和6年度においては、子どもたちの学びを支援するための事業として、次の事業へ、総額 1,820,620 円を活用させていただきました。

●防災教育事業（小学校8校）

八代市内小学校の原則、5年生を対象とし、講師を派遣して防災基礎知識についての講話を行ったり、マイタイムラインを作成したりします。また、八代河川国道事務所様のご協力のもと、浸水ドア体験を行い、早めに避難する大切さを実感できるようにします。

本事業は、令和6年度から令和8年度の3年間で八代市内の全ての小学校で実施します。【寄附金充当額 333,390円】



●中学校英検受験検定料補助金

本市では、中学校3年生までにCEFRのA1レベル（英検3級）相当以上を取得する生徒数を増やすことを目指しており、中学1・2年生に対しても英検取得への意欲を高めてもらう目的で、受験料の半額補助を行いました。それに伴い、本基金を補助額として充当しました。受験者数は増加し、生徒がこれまでに英語の授業を通して身につけてきた英語力を客観的に測ることができました。【寄附金充当額 430,000円】

●小中学校デジタル新聞活用事業 （小学校2校・中学校2校）

児童・生徒のタブレット等を使用して、デジタル化した新聞記事にふれることができました。社会科や総合的な学習の時間など教科の学習、朝の自習時間、修学旅行の事前学習で利用しました。社会の動きへの関心や情報収集力、文章の読解力や表現力が期待できる取組でした。

【寄附金充当額 264,000円】

●ICT教育推進モデル校事業（金剛小学校）

令和6年度から2カ年にわたり、ICTの効果的な活用による授業改善を柱とした研究に取り組みます。今年度は研究1年目であり、まずは研究の方向性を明確にして教職員で共有することに重点を置いて研究を進めました。

本校児童の実態分析を行い、課題を明らかにしました。課題解決に向けて、児童同士の対話・協働的な学びを促すICTの活用（CANVA(ホワイトボードツール)やGoogleの各種機能（Classroomやスプレッドシート等を活用した授業）、家庭学習におけるICTの活用（eライブラリやTeamsによる音読等）等に全校挙げて取り組みました。児童は、タブレットを活用した授業に意欲的に取り組んでおり、タブレットを「文房具」として活用する意識や能力が少しずつ高まり、保護者への理解も進みました。また、児童の学力の伸びが見られました。

【寄附金充当額 36,997円】

●不登校対応パンフレット作成

近年増加傾向にある不登校問題とその対応について、リーフレットを作成し、全世帯に必ず配付される広報紙に折り込みました。市民の方に幅広く周知し、理解を深めてもらうことができ、リーフレットを見て、保護者のみならず、地域の方からも子ども支援相談室へ相談の電話やメールがありました。

【寄附金充当額 212,784円】

●不登校児童生徒の適応指導事業

通常学校で行われる社会科見学や修学旅行、宿泊訓練に参加できない児童生徒が、八代市教育支援センター「くま川教室」の各行事を経験し、コミュニケーション力、協調性、達成感を育みました。キャンプでは、1泊2日の集団生活を通して、友達と協力し、自立心や協働性を培いました。また、校外学習においては、熊本地震で甚大な被害を受けた南阿蘇村の震災ミュージアムや阿蘇大橋を見学し、熊本地震の経験や教訓を学びました。【寄附金充当額 221,345円】

●不登校児童生徒の適応指導事業

八代市教育支援センター「くま川教室」において、世代間交流で千丁みどり保育園の園児と共に5月に芋の苗を植え、11月に芋掘りをしました。人との関わり、人に対する優しさを育むことができました。

【寄附金充当額 27,784円】



●Q Uテスト拡充事業

Q Uテストは「楽しく学校生活を送るためのアンケート」調査です。

本基金事業では、小学校1・2年生を対象に年2回実施します。

※3～6年生は熊本県学力・学習状況調査においてi-check（総合質問紙調査）を実施しています。

（八千把小学校）ハイパーQ Uテストを5月と1月に実施しました。夏季休業中に詳しい結果分析を行い、2学期以降の学級経営に生かしました。課題を学年間でも共有し、学級経営だけではなく学年経営の見直し及び改善につながりました。また、本テストの結果を踏まえて教育相談を実施したことで「心のアンケート」の紙面上には表れてこない児童一人一人の困り感等にも話ができ、児童がより相談しやすい体制ができました。【寄附金充当額 242,880円】

（郡築小学校）アンケートQ Uを5月と12月に実施しました。この結果をもとに、学級生活に不安を抱えている児童等について、個別の教育相談等を実施し、その解決を図りました。また、学級全体で児童が安心して生活が送れるようにするための支援等について、校内で検討し、その取組を進めました。各学級の児童の実態を客観的に捉えるとともに、各学級での課題解決に向けた取組を学校全体で進めることができ、児童の学校生活の充実を図ることができました。【寄附金充当額 30,800円】

（有佐小学校）Q Uテストを実施し、生徒指導や各学級の学級経営等の現状や成果、課題を把握しながら具体的な取組を行っていくことで、結果として、概ね学級生活満足度を向上させることができ、全体的に落ち着いた学校生活を送り、学習に取り組むことができています。【寄附金充当額 20,640円】